

予約から運営分析、集客支援まで



予約予定表からベッドごとの空き状況がわかる（青色の細いライン）

同システム最大の特長は、予約を入力すると、自動で運営分析や集客支援を行ってくれる点だ。

新規予約の情報を入力すると利用予定表に反映される。クラウドなので、利用予定表は常に最新の内容を確認・共有できる。空き状況も表示され、「いつ

どの部屋で受け入れ可能か」が一目でわかりやすい。

施設系サービスでの急な入院など空床管理などにも利用可能だ。

空床状況を自動でFAX

予約だけでなく、利用予定者の基本情報などを入力できる「問合せ管理機能」を搭載。担当者以外が予約を受け付ける際にも、ケアマネジャーから聞き取るべき情報を漏らさない。

予約情報から、システムが稼働率を自動計算。計算の手間なく、事業所の稼働状況や推移を見える化する。単純な稼働率だけでなく、▽新規・定期・不定期別の利用状況▽新規↓定期、不定期↓定期など、利用者ごとの利用傾向の変化▽長期間利用の

割合▽月ごとの一床当たりの午前午後の「被せ目」や空室日▽居宅介護支援事業所やケアマネジャーごとの紹介実績——など、さまざまな切り口からのデータが提供される。

集客支援では利用データから、フォローしておく必要性が高い利用者リストを自動作成してくれるほか、近隣の居宅介護支援事業所検索や、空床状況を自動でFAXしてく

れる機能も搭載する。

利用料金はベッド数にに応じた従量課金制で、1床あたり月790円（年間契約、スタンダードプランの場合など。スタンダードプラン以上は導入費用無料）。

問合せは同社ホームページ（QRコード）から。

